

夏目漱石『それから』の世界 — 「新しい男」の誕生と恋の行方 —

★ 開催日時、開催場所

令和4年9月8日(木)豊田産業文化センター内とよた男女共同参画センターにおいて、一般学科教員 山口比砂による公開講座「夏目漱石『それから』の世界 — 「新しい男」の誕生と恋の行方 —」が開催されました。

★ 講座全体の説明

一般の方々を対象として開催された本講座では、『それから』に描かれた鋭い感覚を誇る「新しい男」の誕生を、当時の時代状況などを踏まえて検証し、漱石が構築した小説世界の魅力を紹介しました。今回は、豊田市だけでなく、みよし市や日進市在住の方からの申し込みもあり、9名の受講生の方々が、漱石文学の世界を満喫されました。以前より継続して受講してくださっている方もあり、漱石の創作の軌跡を辿る貴重なひと時となりました。

★ 講座内容の説明

講座の前半では、まず、芥川龍之介世代の若者があこがれた「新しい男」代助が、どのように造形されているかを読み解き、新しい価値観を支える文明の病としての「神経衰弱」について、時代背景を踏まえて考察しました。また、当時の家制度や社会事情から、代助が人生の大きな分岐点に立っていたことを確認し、講座後半で代助と三千代の関係性を考える土台としました。講座の後半では、覚悟を決めている三千代に対して、現実と向き合う覚悟のない代助の揺れる心理を考察したうえで、漱石が創作過程において、代助を相対化する視点をどのように構築していったか、詳しく検証しました。当時、法律改正により注目されていた姦通というテーマを、自然主義的手法とは一線を画する形で、巧みに描いた漱石の物語構築力を、改めて認識する講座となりました。

★まとめ

本講座は、新型コロナウイルス感染症の流行により、一昨年、昨年と開講できませんでした。今回も、残念ながら体調不良などで数名の方の参加が叶いませんでしたが、受講生の方々には、対面の講座ならではの文学鑑賞の豊かな時間を存分に楽しんでいただけたのではないかと思います。場を共有して物語を読むことの意義を、再認識する貴重な講座となりました。



公開講座の受講風景



『それから』初版本